

協働まちづくり推進助成事業の実施状況について

1 協働まちづくり推進助成事業について

「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」に基づき、多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数の団体が連携し取り組む事業について、審査の上、モデル事業を選定し、事業費の助成と併せて、コンサルティングや必要な専門家の派遣などの支援を行う。

2 応募状況

- (1) 募集期間 平成29年2月1日から3月3日まで
- (2) 募集件数 3件程度
- (3) 応募件数 9件 ※各事業、2団体以上が連名で応募

<応募団体の内訳>

町内会等地域団体	: 4団体
任意団体	: 6団体
NPO法人	: 5団体
大学	: 3団体
その他法人	: 4団体

3 モデル事業の概要

学識経験者等により構成される審査会議での評価を踏まえ、裏面のとおり4事業をモデル事業として決定した。

4 今後の予定

各助成事業者が、サポートチームや専門家による支援を継続的に受けながら、事業を実施していく。

また、10月に予定している中間報告会などの振り返りを経て、制度の本格運用にむけた検討を行う。

「仙台市協働まちづくり推進助成事業」 平成29年度 モデル事業一覧

＜事業名＞	貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり
＜団体名＞	貞山運河研究所、新浜町内会
＜事業概要＞	貞山運河と新浜をはじめとした沿岸部の現況を把握し、貞山運河を沿岸部の復興まちづくりに活かすための魅力を掘り起こす。
＜実施状況＞	イベント「新浜の渡し船とフットパス」を6月から毎月実施。今後、貞山運河のマップ作成も進める。
＜支援＞	事業目的と手段の整理、イベント運営や広報に関する助言。今後、マップ作成等、貞山運河のブランド化に関する専門家派遣等を行う。

●助成金額 1,282千円 / 総事業費 1,425千円

＜事業名＞	交通弱者のための「かにっこ号」（仮称）の運行 — 乗り合いタクシーと施設送迎バスの利用を考える —
＜団体名＞	東中田町内会連合会、社会福祉法人仙台ビーナス会、 東中田地区社会福祉協議会
＜事業概要＞	高齢者や障害者が買い物や通院に利用できる乗り合いタクシーや施設送迎バスの活用を検討する。
＜実施状況＞	専門家、市の関係課を交えて制度や事例の勉強会を実施。今後、試験運行やニーズ調査に向けた具体的な検討を行う。
＜支援＞	制度や事例、合意形成に関する助言。今後は、試験運行に向けた検討やニーズ調査の実施内容検討時に専門家派遣等を行う。

●助成金額 2,700千円 / 総事業費 3,000千円

＜事業名＞	仙台スポーツボランティアプロジェクト ～仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んなまちに～
＜団体名＞	特定非営利活動法人ボランティアインフォ、 市民スポーツボランティアSV2004、仙台大学
＜事業概要＞	スポーツボランティア(SV)がより活動しやすい環境づくりやノウハウの体系化を通して、スポーツボランティアを量・質両面から盛り上げる。
＜実施状況＞	SV検定メニュー、webサイトの準備中。特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク(JSVN)が実施するSV検定の話もあり、事業計画を再調整中。
＜支援＞	事業化に向け事業目的と手段の整理。今後、インターンシップに関する専門家、広報に関する専門家の派遣等を行う。

●助成金額 2,996千円 / 総事業費 3,329千円

＜事業名＞	文教地区桜ヶ丘における大学と地域の特色を生かした世代間交流
＜団体名＞	宮城学院女子大学、桜ヶ丘学区連合町内会
＜事業概要＞	大学と地域が密接な関係にある文教地区の特性を生かし、高齢者と子どもたちと学生が交流する場を創出する。
＜実施状況＞	4月から地域と学生・子どもの世代間交流イベント、回想法を用いたニーズ調査を実施している。
＜支援＞	世代間交流の手法に関する助言や事例紹介。実施プロセスを他地域でも展開できるよう、報告書などの作成に関する助言を行う。

●助成金額 810千円 / 総事業費 900千円